

戦争法案 普通の市民も怒ってる

港の出撃拠点化阻止

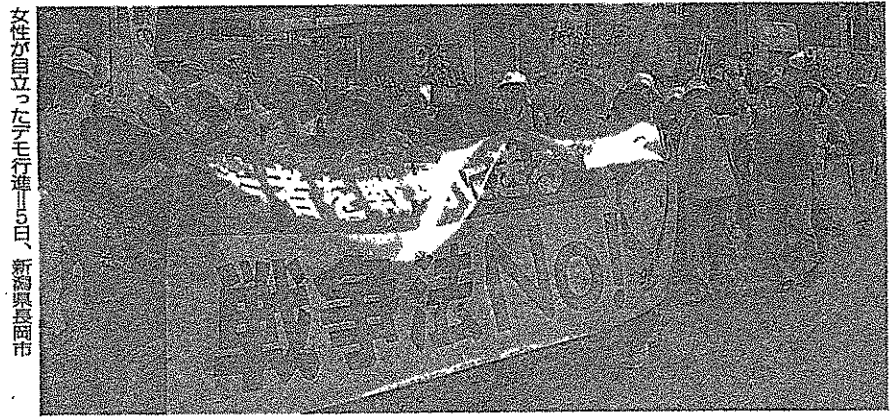
名古屋
名古屋市の港橋公園で4日夜、「戦争法案廃案！安倍政権退陣！港区大集会」が開かれました。平和と憲法を守る港区連絡会、名古屋労働、港地区労の共催。同区での戦争法案反対などの集会では過去最高の1500人を上回る区民が参加しました。

名古屋労働の青山公平議長が開会あいさつで、陸上自衛隊第10師団が8月、名古屋港から戦車などを積み込みアメリカへ軍事演習に向かったと報告し「戦争法案が成立すれば、名古屋港は自衛隊が出撃する港になる。戦争法案は絶対に阻止しよう」と訴えました。

日本共産党の、ただ良介参院比例候補、山口清明市議が招かれ、ただ氏は「自衛隊の河野統合幕僚長の訪米時の発言など、法案成立を前提にした自衛隊の暴走が浮き彫りになった。文民統制が崩壊している。日本共産党は国会論戦と幅広い国民運動と結んで戦争法案の廃案へ全力をあげる」と述べました。

者組合から「戦争法案阻止へ県選出の国会議員へメールやファクスで訴えている」などの報告がありました。集会後、参加者は「戦争法案は廃案だ」と訴え、区内をパレードしました。

港灣で働く男性(55)は「名古屋港は日本一の貿易港。軍艦の入港は止めてほしい」と語りました。



若い夫婦・飛び入り参加 「主権者は国民」

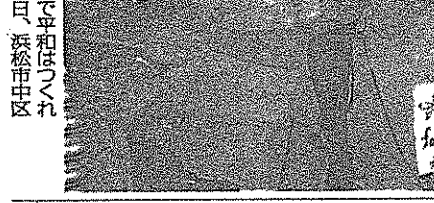
新潟・長岡
新潟県長岡市で5日、「戦争法案廃案！安倍政権退陣！長岡行動」が行われ、集会和デモ行進をしました。会場は雨町公園には若者や乳母車を引いた母親など650人が集まりました。

憲法を守る長岡地域共同センターと平和憲法を守る長岡市民の会からなる総がかり行動実行委員会が主催。事前に6万枚のビラを地元紙と全国紙に新聞折り込みし、ビラを見てかけつけた市民も多くいました。

集会では、呼びかけ人の五十嵐亮氏(弁護士)、大平美恵子氏(前市職・無所属)、大星光史氏(歌人・医学博士)、兒嶋俊郎氏(長岡大学教授)、小林茂氏(下キュメントリイ映画監督)らが「戦争法案を絶対に廃案にしよう」「なんとしても安倍政権を倒そう」「われわれ国民こそ主人公だ」とあいさつしました。民主、社民の両陣営、共産党の4市議、社民党市議からも力強いエールがありました。

地域・団体から報告があり、寺泊地区の9条の会は全国の観光客が集まる鮮魚市場「アメ横」で定期的に宣伝活動が寄せられていること、青年9条の会は継続してパレードを行い、青年・学生が自分の意思を表明するようになってきていることを紹介。世代を超えて運動の広がりが伝えられました。

デモ出発時には予想をはるかに上回る人数が参加しました。



浜松市中区で5日、第3回ラブ&ピースミュージックパレードが開かれ、400人が参加しました。よさこいやエイサーの舞などの

音出し声出し歩き出し後、パークッション隊を先頭に繁華街を「世界に誇れる憲法を守る」「外交努力で平和はつくれる」とアピール。東京だけでなく浜松でもよさこいパレード(80歳男性と市

民も驚き多くの人が注目しました。現役大学生などの市民有志や弁護士たちによる実行委員会の主催。実行委員の大山彌希(ゆうき)さん(文

「戦争法案」廃案を訴える軽トラパレード4日、三重県いなば市

民も驚き多くの人が注目しました。現役大学生などの市民有志や弁護士たちによる実行委員会の主催。実行委員の大山彌希(ゆうき)さん(文

9/5